

丹波青少年本部だより



編集・発行／丹波青少年本部 〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600 県立丹波の森公苑内 ☎0795-72-5168

<http://www.seishonen.or.jp/> ※新着情報をご覧ください！



たんぼ子ども塾

丹波地域(丹波市・篠山市)の6高等学校を会場に、高校生が先生となり小学生(小学4～6年生)を対象に、各高校の特色を活かした講座を開催しました！



1



7月26日(木)篠山産業高校

わくわく親子工作教室

ペットボトルロケットを作る体験をしました。

2



7月30日(月)篠山東雲高校

たんぼの生きものを調べよう!!

たんぼ(ピオトープ)に入って生きものを採集し観察しました。

3



8月1日(水)氷上西高校

プログラミング講座

小学生向けのソフトを使ってプログラミングに挑戦しました。

4



8月3日(金)篠山鳳鳴高校

デカンショ節を唄おう

篠山の代表的な民謡「デカンショ節」を身近に感じながら楽しく学びました！

5



8月8日(水)氷上高校

丹波大納言小豆を用いた食品加工

丹波大納言小豆を使った「冷やしぜんざい」を作りました！

6



8月17日(金)柏原高校

マジック貯金箱を作ろう

目の錯覚を利用し、コインを入れたら消える貯金箱を作りました。



ご挨拶

大木 康次 本部長

今、社会に目を向けると、少子高齢化、つながりの希薄化、グローバル化等、多くの社会問題がみうけられます。このような時代にこそ、人づくり、地域づくり、つながりづくりが重要で、「人と共に生き、支えあう地域づくり」と、そのための人材育成が必要です。

そのことに携わってきた県青少年本部は、創立50周年を迎えました。記念事業の施策として「第40回少年の主張兵庫県大会」が神戸で開催され、これに先立ち「体験を通じて考えていることや感じていること」について県内の中学校に募集をしたところ、8,411件もの応募がありました。丹波地域からも中西帆香さんが選ばれ、心のこもった全力投球の発表に、奨励賞を受賞されました。誠にありがとうございます。

審査委員長によると、「自分の生き方」、「社会への期待」、「体験から学んだこと」、「周りへの感謝」の4つが今年の大きな特徴で、こうした主張は「私たち大人にも語りかけるものがあり、感動を覚えた」との講評がありました。このような中学生からのメッセージ、主張を聴くにつれ、「ひょうご青少年憲章」のもと、青少年のふるさと意識を高める体験活動、トラブルや非行から守る、健全な育成環境づくりの重要性が強く感じられるところです。そんななか、この2月に第15期ころ豊かな人づくり500人委員会修了式が県公館で開催され、2年間の研修を経た新たな指導者が県下で151人、丹波地域からも11人誕生しました。

当本部の事業として、青少年を守り育てる推進、実態調査、飲酒、喫煙、薬物乱用の防止に関する取り組み等を、行政、学校、警察などの協力を得て県民運動をより充実、強化させるとともに、機会を設け方策の検討を実施してきました。人生100年時代、社会変化への柔軟な対応と、複雑化する課題へのかかわり、「人と共に生き、支えあう地域づくり」により、より良い地域社会実現に向けた取り組みが叫ばれているなか、今後15期生のご活躍を願うと共に、私たちも一緒になり、地域社会発展のために、尽くしていきたいと思う次第です。

丹波青少年本部会議

平成30年6月20日(水)県立丹波の森公園多目的ルームにおいて「平成30年度丹波青少年本部会議」を地元選出の石川県会議員の御臨席を頂き開催いたしました。

「29年度事業報告」「30年度役員選出」「30年度基本方針」等について原案どおり可決承認されました。

平成30年度の基本方針は「見せようおとなの背中、伸ばそう子どもの芽」をスローガンに、「多様な活動主体と連携した協働事業の推進」をはじめとして、4本柱の施策体系に基づく各事業から成っております。



丹波地域スクラム会議開催

スマートフォン・ゲーム機などインターネット機器に容易に接続できることから、SNS・掲示板等による青少年がネットトラブルや犯罪に巻き込まれる事案が多発しているほか、JKビジネスを始めとする未成年者を対象とした新規商法があらたに出現するなど未成年者が被害者となる事案があとをたちません。

また、丹波地区における平成29年中の非行少年は、前年に比べて約25%減少していますが、小学生、高校生、有職少年に増加が見られます。深夜はいかい、喫煙等の不良行為少年は、前年に比べ約4%減少しており、依然として横ばいの状態であります。

このため、警察、関係業界、青少年育成団体、補導委員会、学校関係者等が一同に介して青少年・大人の規範意識の醸成と社会環境の浄化等をめざして、6月20日、ソーシャルネットワークの筒崎眞美講師を招聘し、スマートフォンの使用の怖さについて等の講話をいただき丹波地域スクラム会議を開催しました。



参加者

学校、PTA、コンビニ等関係業界、青少年本部構成団体、地域内警察署生活安全課員、丹波県民局その関係団体構成員など計65名

内容

①青少年を守り育てる県民スクラム運動の推進等について②青少年を取り巻く環境の実態について③青少年非行の現状について④関係業界、関係機関・団体の取り組みについて(青少年愛護条例の改正による青少年のフィルタリングの義務化及び家庭におけるルールづくりの現状、少年非行の現状、学校、自宅周辺での青少年の動向等)

第15期こころ豊かな人づくり500人委員

“こころ豊かな美しい兵庫”の実現に向けて、次代を担う青少年の育成活動や魅力ある地域づくり活動の担い手として活動いただく「こころ豊かな人づくり500人委員」育成事業を実施しています。

平成29・30年度の2年間を通して、第15期委員が研修に取り組み、11名の委員が所定の回数を出席され、めでたく修了されました。

修了生の皆さまは、この2年間で学んだことや人とのつながりを活かし、今後、500人委員会OB会員として、また、様々な地域活動の担い手としてご活躍される予定です。

○平成30年度の活動内容

【全県講座】

開催日	場 所	会議名等
H30. 6.23(土)	加古川市民会館	500人委員全県OB交流会
H30.12.16(日) (本部補講)	兵 庫 県 公 館	スマホサミット in ひょうご2018
H30. 8.30(木) (丹波補講①)	篠山市民センター	丹波の森大学講座「森の生き物と人々の暮らし」 講師:関西学院大学名誉教授 高畑 由起夫 氏
H30.11.18(日) (丹波補講②)	丹波の森公苑	丹波の森づくり30周年記念シンポジウム
H31. 2.10(日) (丹波補講③)	丹波の森公苑	「丹波の森若者塾」合同フォーラム
H31. 2.23(土)	兵 庫 県 公 館	修了式・さわやかステージ 記念講演「スポーツの力」 講師:国際フィギュアスケート連盟名誉委員 平松 純子 氏



【丹波地域講座(講義)】

開催日	場 所	会議名等
H30. 9. 8(土)	丹波の森公苑	講義&ワークショップ「こどもと遊ぶ心得」 講師:森林インストラクター・野遊び研究家 山崎 春人 氏
H30.12. 8(土)	丹波の森公苑	講義&ワークショップ「冬の遊び」 講師:森林インストラクター・野遊び研究家 山崎 春人 氏

【丹波地域講座(フィールドワーク)】

開催日	場 所	会議名等
H30.10.28(日)	丹波の森公苑	「丹波の森フェスティバル」へのスタッフ参加
H30.11.23(金・祝)	四季の森生涯学習センター	「たんぱっ子!学びフェスタ」へのスタッフ参加
H30.12.15(土)	丹波の森公苑	「丹波縄文の森塾」へのスタッフ参加



【教養講義】

開催日	場 所	会議名等
H30. 9.22(土)	兵 庫 県 公 館	少年の主張兵庫県大会
H30.10.27(土)	兵 庫 県 公 館	兵庫県青少年本部創立50周年記念式典
H30.10.11(木)	丹波の森公苑	丹波の森大学公開講座「仮面舞踏が明かす森のイメージ」 講師:国立民族学博物館長 吉田 憲司 氏
H31. 1.19(土)	四季の森生涯学習センター	まちづくり交流会・丹波青少年本部長賞表彰式



丹波の森若者塾

丹波地域の6高等学校の高校生が、丹波地域で活動を行う協力大学と連携しながら、1年を通じて地域課題解決のための研究活動を行う事業です。

篠山鳳鳴高校

これからの篠山

協力:神戸大学篠山フィールドステーション

総合学習「地域探求」の一環として、「これからの篠山」をテーマに、生徒が研究したい題材を自ら選択し、グループに分かれて調査・研究を行いました。合同フォーラムでは、「フォレストアドベンチャー・丹波ささやま」の課題整理、現地調査、現状分析、改善案の提案等を行ったグループが、代表として発表を行いました。



篠山産業高校

篠山の観光事業と地域貢献活動について

協力:神戸大学篠山フィールドステーション

地域の方の協力を得て特産品の山の芋や黒豆を利用した新商品開発に取り組み、山の芋と黒豆の入ったカップケーキを作りました。



神戸元町で開催された「ひょうごの元気ムラ大交流会」や、姫路で開催された「ひょうご産業教育フェア」で販売実習を行い、「たんぱつ子!学びフェスタ」では訪れた子どもに配布しました。

「ひょうご産業教育フェア」では篠山市のマスコットキャラクター「まるいの」にも販売のお手伝いをしてもらいました。沢山の方とふれ合いコミュニケーションを取ることができ、篠山市だけでなく篠山産業高校にも興味を持っていただくことができました。

篠山東雲高校

地域農業の課題発見とその解決策を探る ～神戸大学連携事業に参加して～

協力:神戸大学篠山フィールドステーション

篠山市村雲地区で体験した「実践農学入門」では、地元農家や大学生と一緒に田植え交流や黒大豆収穫などを行いました。学校で学んでいる方法と違う点もあり、地元農家の工夫を身をもって感じるとともに、ワークショップにも参加し、地域農業の課題発見や解決策の検討に取り組みました。



柏原高校

丹波地域在住外国人の交流・防災 支援と柏原町内の車いすマップづくり

協力:神戸学院大学

外国人ママのクッキング教室の開催により丹波市在住外国人との交流を深めるとともに、在住外国人の防災意識を高めるため、外国人用の防災紙芝居を作成し様々な行事で披露しました。



また、講師にバリカン京都の山本さんを迎え、高校周辺を実際に車いすに乗って調査し危険な場所などをチェックしました。

氷上西高校

関西大学佐治スタジオと連携して 地域活性化に取り組む

協力:関西大学佐治スタジオ

あおがき道の駅の夕べ・丹波布の里祭り・あおがき八宿祭りに参加し、伝統の土田うどんの制作販売等を行いました。その他に、青垣小学校前バス停ベンチ作成プロジェクトによるベンチの設置、林道整備、子育てサロンへの参加等、様々な地域イベントに積極的に参加しています。



氷上高校

地域行事への参加を通し、 地域活性化に貢献し得る活動について学ぶ

協力:関西大学佐治スタジオ

地域の人とふれあえる場を提供するため、地域イベント「シルバーふれあいの集い」に参加しリース作りや豚汁の提供、販売実習などを行いました。また、今年度は京都府の福知山公立大学の講義にも参加し、これからの取り組みのあり方についても検討しました。



丹波の森若者塾合同フォーラム

今年度の各高校での取り組みの成果発表と参加者による意見交換を行う平成30年度「丹波の森若者塾」合同フォーラムを、2月10日(日) 県立丹波の森公苑・多目的ホールで開催しました。

当日は、6校がパワーポイントで作成した資料を中心に発表し、意見交換の後、参加大学教員から講評を受けました。

発表後の質疑応答では、地域の参加者から激励の言葉が多数寄せられました。

今年度は兵庫県青少年本部創立50周年、さらに「丹波の森若者塾」開始から10年目を記念し、自然食レストラン「三心五観」代表の藤本傑士氏を講師に迎え「古民家から地域と人を再生する」と題した講演会を開催しました。



高校生による成果発表



講演「古民家から地域と人を再生する」

高校生通学列車等マナー指導を実施

平成30年度高校生通学列車等マナー指導は、6月、12月に丹波地域内外の関係14校で、各校の実情に合わせた取り組みが行われました。

丹波青少年本部では6月15日(金)、12月14日(金)に、丹波警察署や2市少年補導員連絡協議会、篠山・丹波防犯協会、2市青少年施策担当課の職員と合同で列車内指導を実施しました。

14校でマナー指導を実施された内容は以下の通りです。

6月の強調月間実施内容(構内指導等含む)

- ・通学列車の駅構内でマナー指導を実施(7校)
- ・同列車内でマナー指導を実施(3校)
- ・自転車通学・徒歩通学のマナー指導を実施(3校)

12月の強調月間実施内容(構内指導等含む)

- ・通学列車の駅構内でマナー指導を実施(1校)
- ・同列車内でマナー指導を実施(6校)
- ・自転車通学・徒歩通学のマナー指導を実施(3校)



丹波青少年本部長賞

丹波青少年本部では、平成31年1月19日(土)篠山市立四季の森生涯学習センター(東館大会議室)において、丹波地域で日常優れた青少年育成活動を展開されている個人及び団体のみなさまに対し、今後の更なるご活躍を期待して、標記の賞をお贈りしました。

本年度の受賞者は、次の方々です。

大路未来会議 様	梅田 富美代 様
語りベサークル ふるさと 様	越川 浩行 様
東小学校鼓笛隊 様	柳瀬 太 様 (五十音順)



丹波出会いサポートセンター 会員募集中

あなたの「出会い→結婚」を兵庫県がサポートします!

兵庫県では、結婚を希望する独身男女に、1対1のお見合いの機会を提供します。

ビッグデータを活用した当センターのシステムでは、自分で好みの異性を検索するだけでなく、異性のお見合い申込みデータから、自分のことを好んでいそうな異性を瞬時に解析し、あなたの候補者選びをお手伝いします。どうぞお気軽にお申し込みください。お待ちしております。

申込み方法については、
ホームページをご覧ください。
<https://www.msc-hyogo.jp/>

丹波出会いサポートセンター(丹波の森公苑1F)

TEL:0795-78-9130

開館日:水・土・日曜日 9:00~17:15

祝日・年末年始(12月29日~1月3日)を除く

公益財団法人 兵庫県青少年本部



※会員登録には、メール・インターネットのできるパソコン、スマートフォン等が必要です。

「賛助会」入会のお願い ~青少年健全育成のために、ご協力お願いします~

丹波青少年本部の自主事業は、皆様からお寄せいただいた温かい賛助会費により実施しています。丹波地域の青少年の健全育成のために、是非『賛助会』にご入会ください。年間を通じ、随時受け付けております。

賛助会費

普通賛助会員(個人) 年額一口 2,000円

普通賛助会員(団体・企業) 年額一口10,000円



兵庫県マスコット はばタン

ご入会・お問い合わせは・・・ 丹波青少年本部事務局 TEL:0795-72-5168まで。

編集後記

往復5時間の通勤生活も終わりの日が近づいてきました。

3年前の4月1日、柏原駅から総合庁舎へ辞令受領に向かう途中、通りすがりの高校生に挨拶され、感激したことを懐かしく思い出します。

道端ですれ違った時、学校を訪問した時、丹波の子供たちは、知らないおじさんにも元気に挨拶してくれます。この習慣こそ、丹波地域が長年守り継承してきた貴重な財産だと思えます。

巨大な栗や椎茸に感動し、巨大なカメムシやムカデに恐怖する丹波の森公苑での勤務は、新鮮で刺激的な毎日でした。

いつも優しくご理解・ご協力いただける役員の皆様、個性豊かで様々なスキルを持つ頼もしい地域住民や職員の皆様にも助けられ、助けていただきながら、何とか職務を全うすることができました。

丹波は私にとって大切な心のふるさとになりました。3年間本当にありがとうございました。

H.F